第２章　沼津市の子ども・子育てを取り巻く環境

第１節　統計にみる沼津市の現状

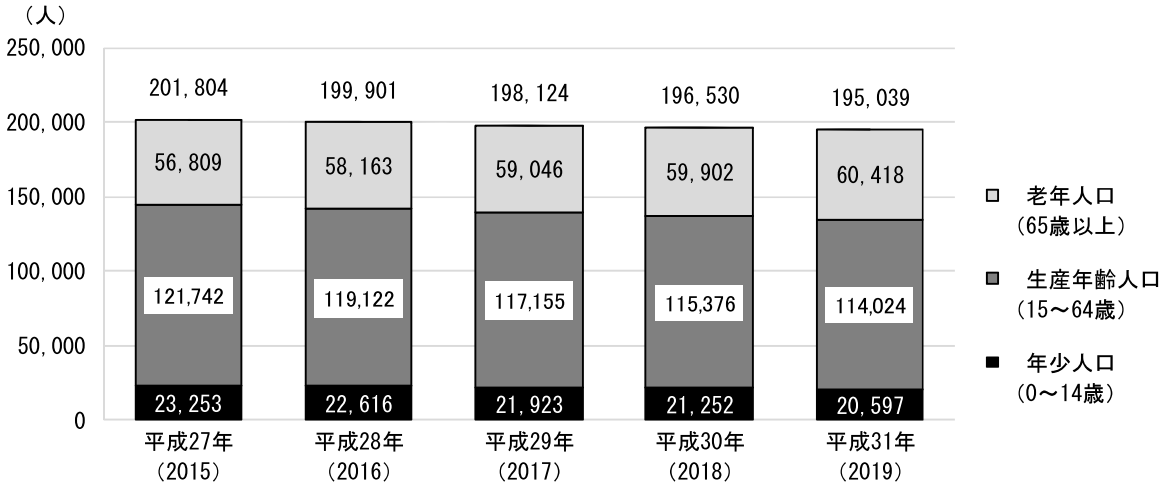
１　人口・世帯の推移

（１）総人口の推移

本市の平成 31 年（2019）４月１日における総人口は 195,039 人となっています。総人口は減少傾向が続いており、平成 27 年（2015）から平成 31 年（2019）までの５年間で、6,765 人減少しています。

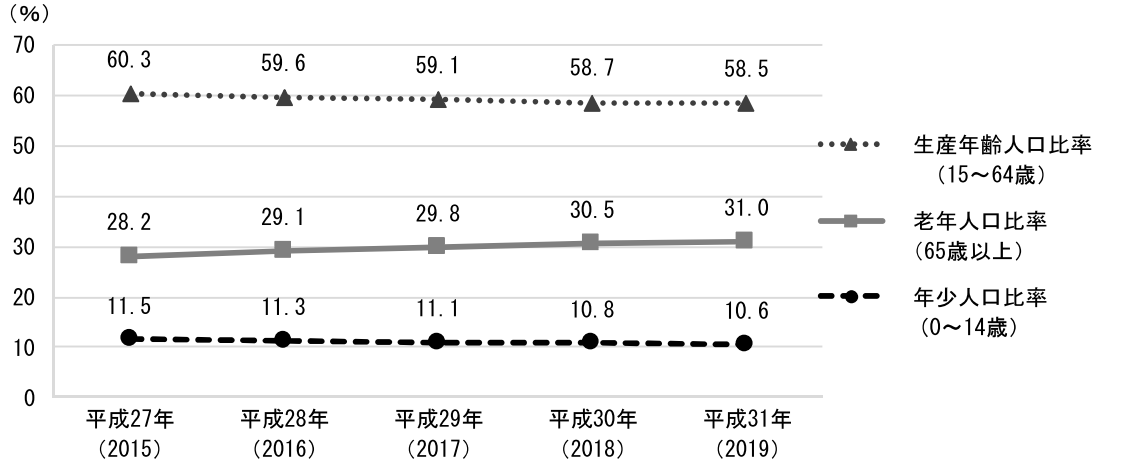
また、年齢３区分別で比較してみると、年少人口が 2,656 人、生産年齢人口が 7,718 人とそれぞれ減少しているなか、老年人口は 3,609 人増加しており、少子高齢化が進行している状態です。

■総人口の推移（年齢３区分別）



資料：沼津市住民基本台帳（各年４月１日）

■総人口における年齢３区分比率の推移



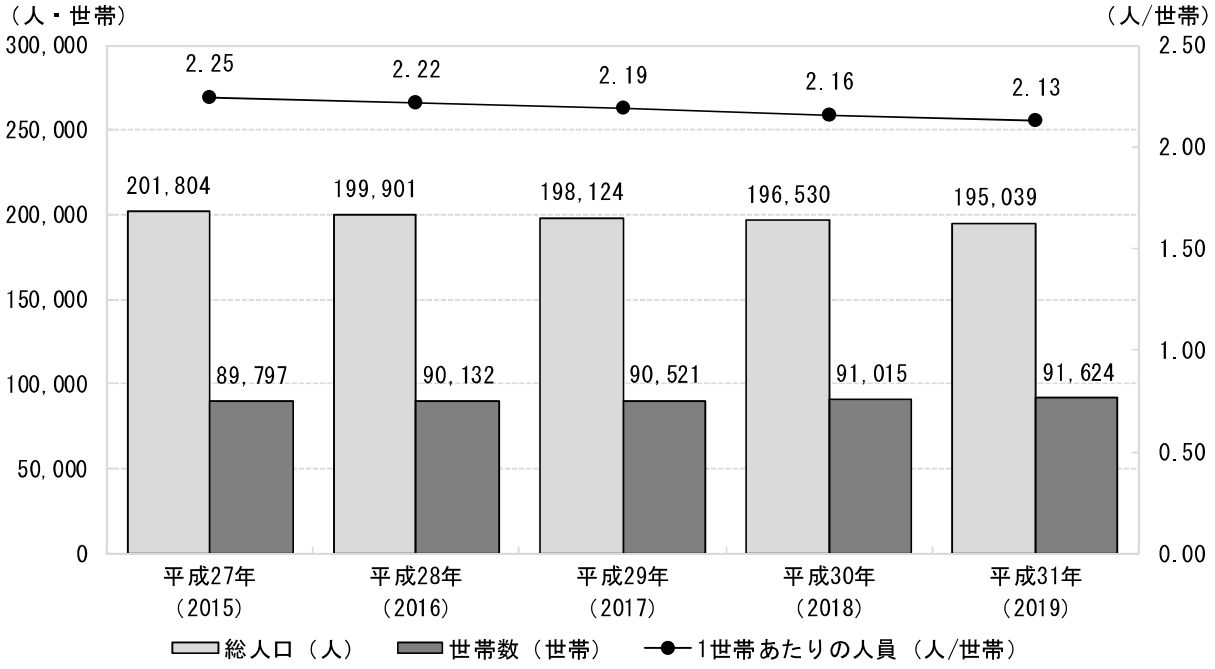
資料：沼津市住民基本台帳（各年４月１日）

（２）世帯数の推移

本市の世帯数は平成 31 年（2019）４月１日には 91,624 世帯となっています。総人口が減少している中で世帯数は微増傾向であり、１世帯あたりの人員は減少傾向となっています。

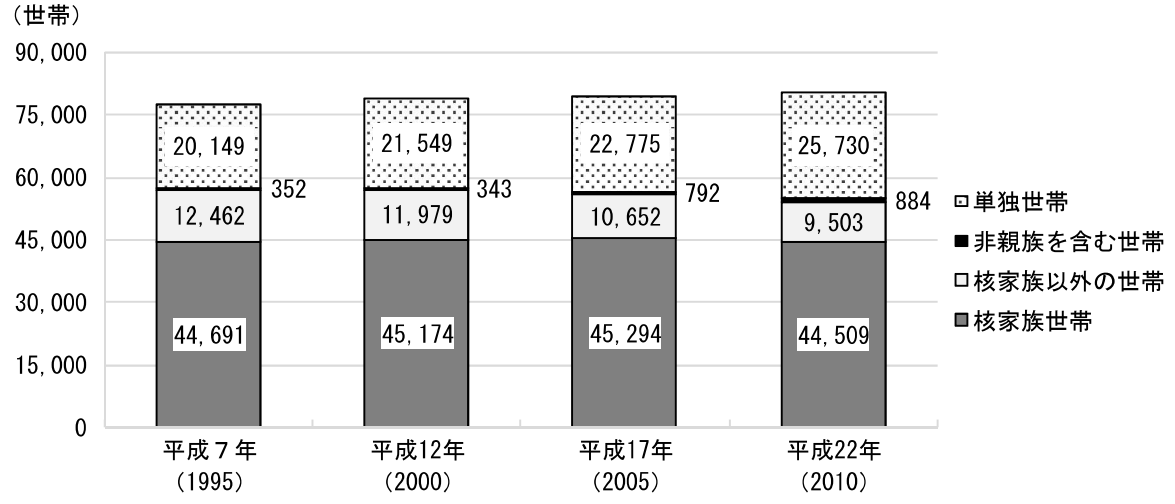
また、国勢調査による家族類型別世帯数の推移をみると、平成 12 年（2000）から平成 27 年（2015）までの 15 年間で単独世帯が 5,581 世帯増加しています。核家族世帯の内訳としては「夫婦と子どもの世帯」が減少する一方で、夫婦のみの世帯、「女親と子どもの世帯」等のひとり親世帯の割合が上昇しており、世帯の細分化が進んでいます。

■一般世帯数・１世帯あたりの人員の推移



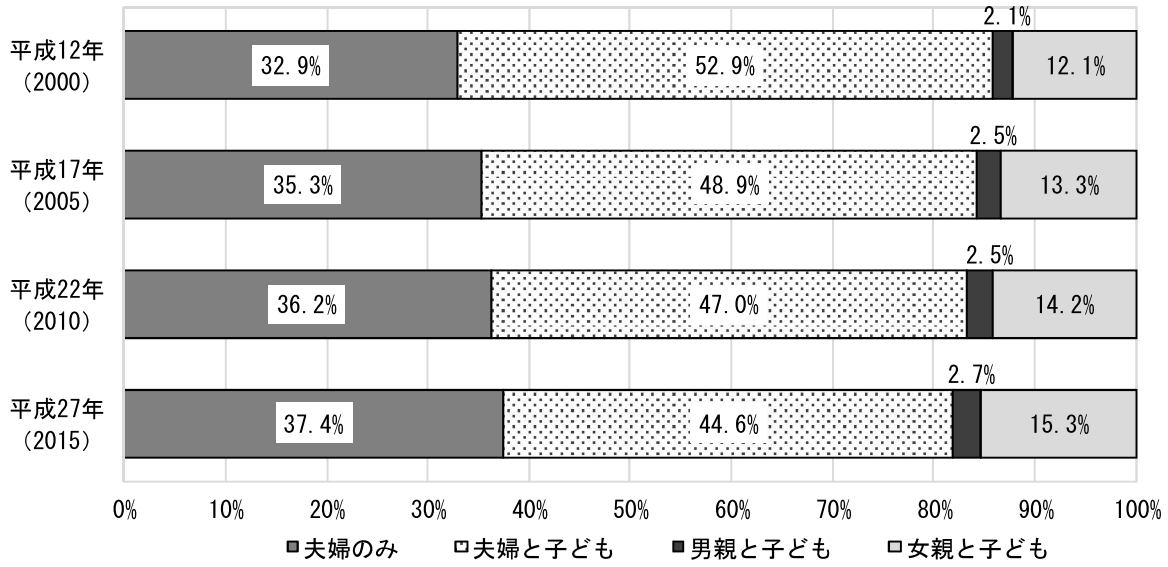
資料：沼津市住民基本台帳（各年４月１日）

■家族類型別世帯数の推移



資料：国勢調査

■核家族世帯の内訳の推移



資料：国勢調査

２　人口動態の状況

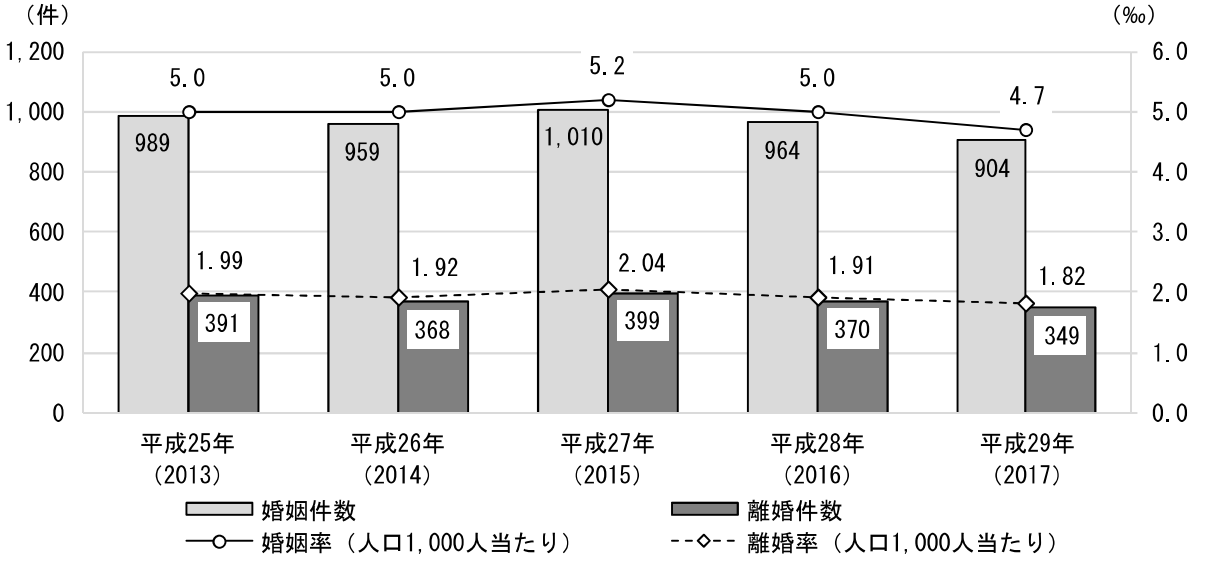
（１）婚姻・離婚件数の推移

本市の平成 29 年（2017）12 月 31 日における婚姻件数は 904 件、離婚件数は 349 件となっています。婚姻・離婚ともに年ごとにばらつきはあるものの平成 27 年（2015）以降は減少が続いており、平成 25 年（2013）から平成 29 年（2017）までの５年間で、婚姻件数は 85 件、離婚件数は 42 件減少しています。

平均初婚年齢の推移をみると、平成 27 年（2015）から平成 29 年（2017）までの５年間で、男性では 1.4 歳、女性では 1.3 歳上昇しています。

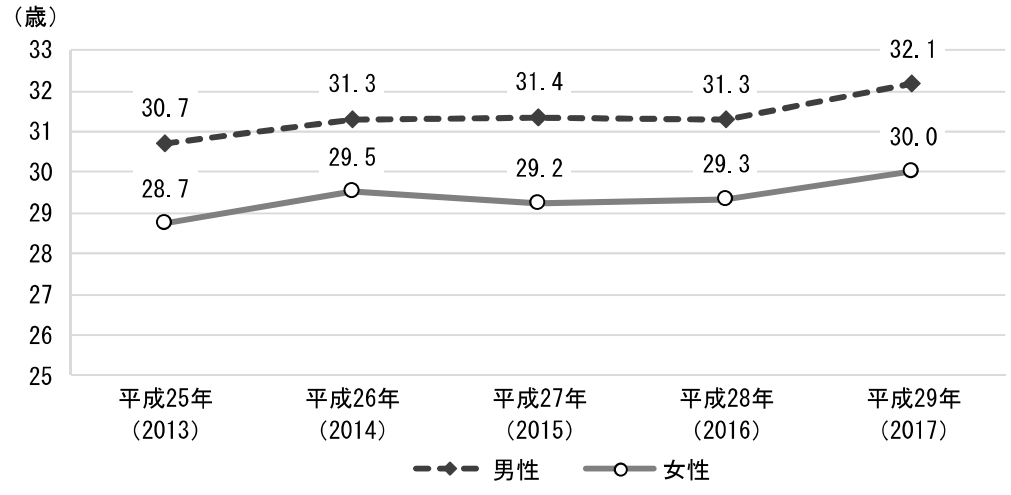
また、国勢調査による 25 歳から 39 歳までの未婚率は、平成７年（1995）から平成 27 年（2015）までの 20 年間で、未婚率（25～39 歳合計）が男性は 7.3 ポイント、女性は 11.5 ポイントそれぞれ上昇しています。晩婚化や結婚しない人の数が男女ともに増加傾向にあります。

■婚姻・離婚の推移

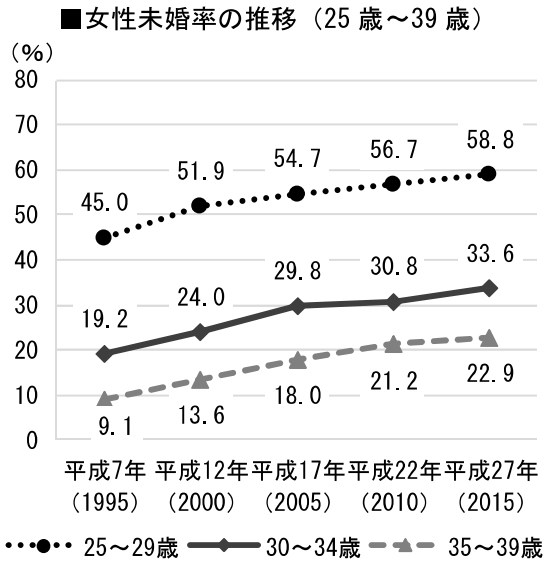


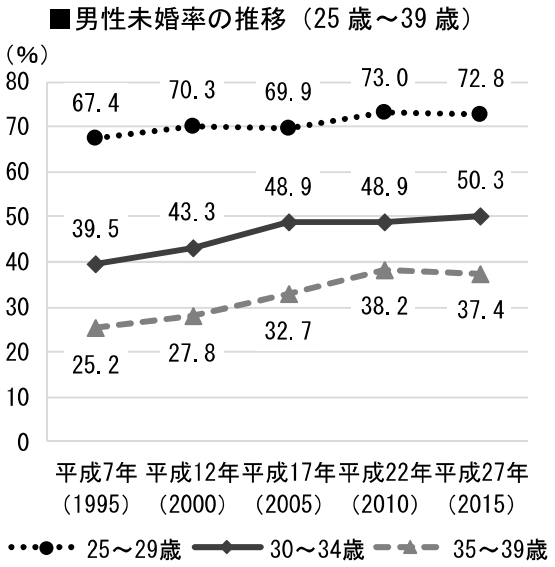
資料：人口動態統計

■平均初婚年齢の推移



資料：人口動態統計

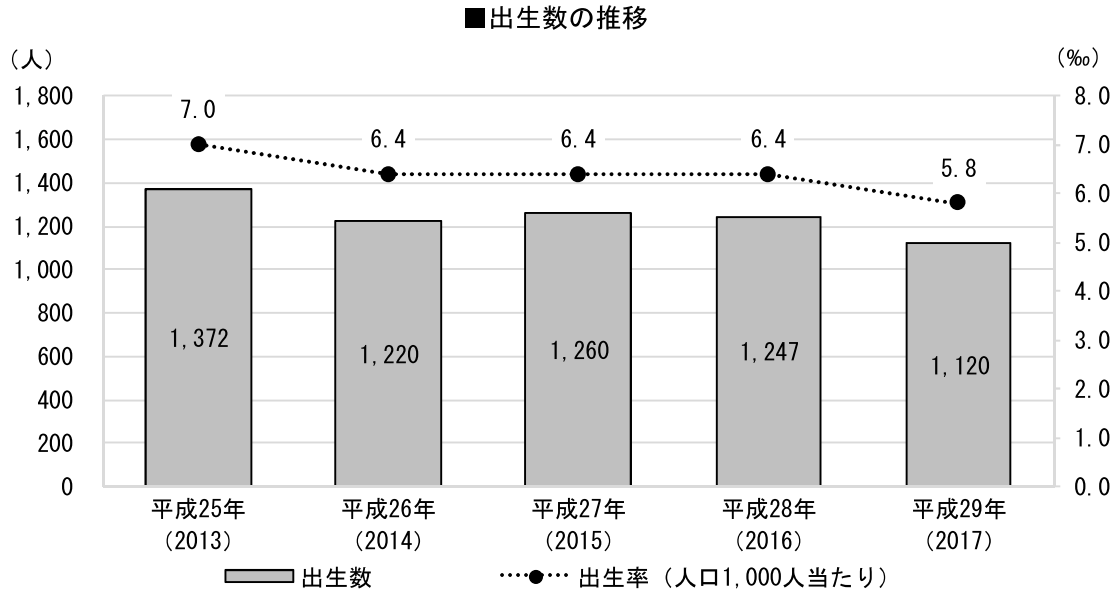




資料：国勢調査

（２）出生数の推移

出生数の推移をみると、年ごとにばらつきはあるものの減少傾向にあり、平成 25 年（2013）から平成 29 年（2017）までの５年間で 252 人減少しています。



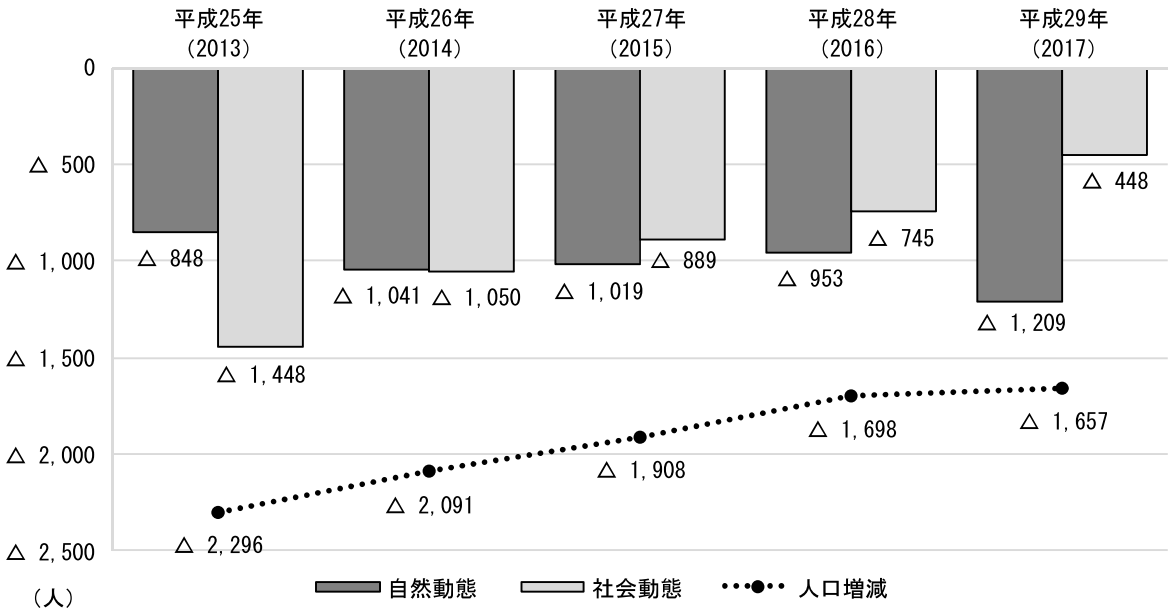
資料：人口動態統計

（３）人口動態の推移

本市の人口の動きをみると、自然動態（出生―死亡）、社会動態（転入―転出）ともに減少が続いています。

自然動態と社会動態を合わせた人口動態は、平成 29 年（2017）で 1,657 人の減少となっており、社会動態の減少量は縮小傾向にあるものの、減少が続いています。

■人口増減（自然動態・社会動態）の推移



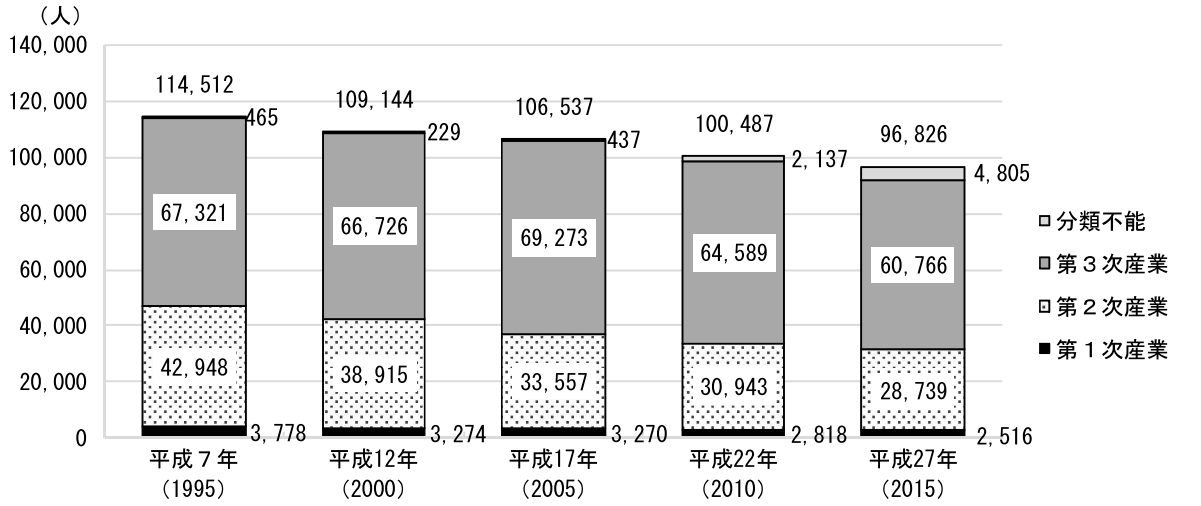
資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査

３　就労状況

（１）産業別就業状況

本市の就業者数は、平成７年（1995）以降減少傾向となっています。産業別にみると、第３次産業の就業者が最も多く、平成 27 年（2015）では全体の 62.8%を占めています。

■産業別就業者数の推移

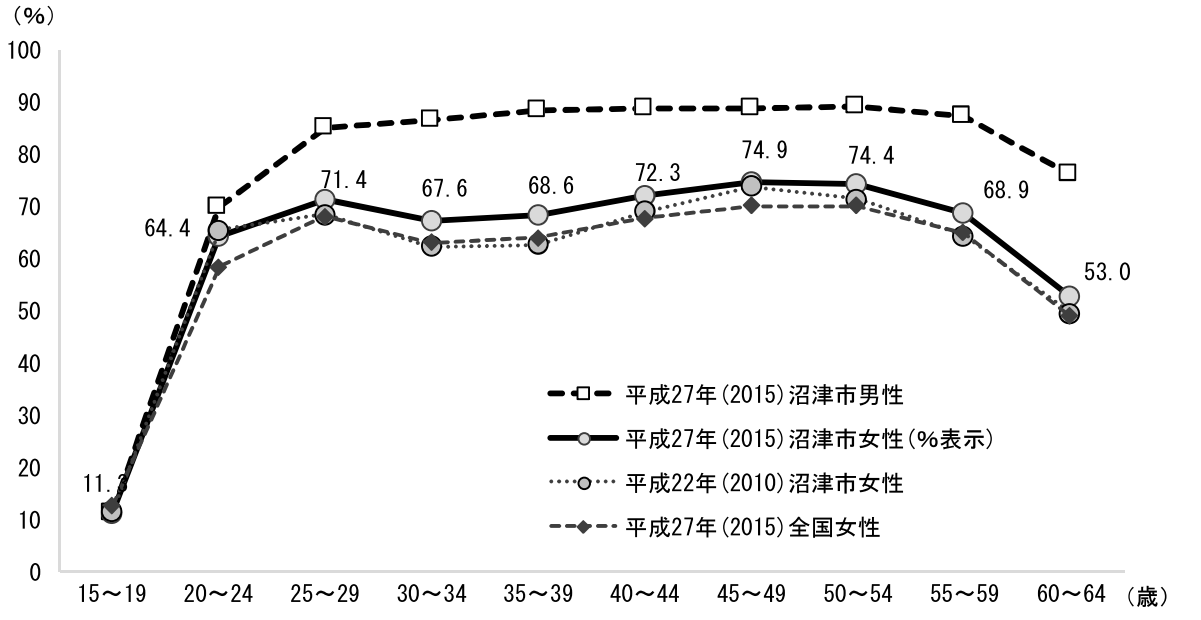


資料：国勢調査

（２）女性の年齢別就業率

本市女性の年齢別就業率は、多くの年代で全国平均よりも高い水準となっており、平成 27 年（2015）と平成 22 年（2010）とで比較すると、20 歳代後半から 40 歳代前半までで増加がみられます。結婚・出産期にあたる年代に就業率が一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する、いわゆる「M字カーブ」は改善傾向にあります。

■女性の年齢別就業率



資料：国勢調査

４　教育・保育施設等の状況

（１）幼稚園児童数

令和元年（2019）５月現在、本市の幼稚園は 16 か所となっており、充足率は 56.3%となっています。

■地区別幼稚園の状況表（令和元年（2019）５月１日現在）　　単位：か所、人、％

	西部地区	中央西地区	中央地区	東部地区	中央南地区	南部地区	計
施設数（か所）	1	1	3	5	4	2	16
定員（人）	280	150	600	1,225	700	345	3,300
利用児童数（人）	198	24	369	827	288	151	1,857
充足率（%）	70.7	16.0	61.5	67.5	41.1	43.8	56.3

資料：沼津市

■幼稚園別児童数（令和元年（2019）５月１日現在）　　単位：人、％

施設		地区	令和元年（2019）		
			定員（人）	入所者数（人）	充足率（%）
公立	大平幼稚園	中央南	140	37	26.4
	戸田幼稚園	南部	105	5	4.8
私立	愛鷹幼稚園	西部	280	198	70.7
	加藤学園幼稚園	東部	390	245	62.8
	耕雲寺幼稚園	東部	270	136	50.4
	光長寺幼稚園	東部	195	178	91.3
	四恩幼稚園	中央	100	36	36.0
	象山幼稚園	南部	240	146	60.8
	第二耕雲寺幼稚園	東部	180	83	46.1
	沼津あすなろ幼稚園	中央	190	93	48.9
	沼津学園第一幼稚園	中央	310	240	77.4
	沼津学園第二幼稚園	東部	190	185	97.4
	沼津聖マリア幼稚園	中央南	200	72	36.0
	沼津梅花幼稚園	中央南	180	139	77.2
	双葉幼稚園	中央南	180	40	22.2
	ルンビニ幼稚園	中央西	150	24	16.0

資料：沼津市

（２）保育所児童数

平成 31 年（2019）４月現在、本市の保育所は 29 か所となっており、充足率は 87.1%となっています。

■地区別保育所の状況表（平成 31 年（2019）４月１日現在）　　単位：か所、人、%

	西部地区	中央西地区	中央地区	東部地区	中央南地区	南部地区	計
施設数（か所）	7	3	2	5	7	5	29
定員（人）	555	300	310	600	540	190	2,495
利用児童数（人）	483	219	284	560	518	109	2,173
充足率（%）	87.0	73.0	91.6	93.3	95.9	57.4	87.1

資料：沼津市

■保育所別児童数（平成 31 年（2019）４月１日現在）　　単位：人、%

施設		地区	平成 31 年（2019）		
			定員（人）	入所者数（人）	充足率（%）
公立	西浦保育所	南部	60	26	43.3
	北部保育所	中央	150	147	98.0
	大平保育所	中央南	60	56	93.3
	金岡保育所	中央	160	137	85.6
	大岡保育所	東部	120	105	87.5
	ときわ保育所	中央西	90	40	44.4
	戸田保育所	南部	40	14	35.0
私立	永明保育園	中央西	90	76	84.4
	恵愛保育園	中央南	120	111	92.5
	霊山保育園	中央南	60	65	108.3
	岳東保育園	東部	150	134	89.3
	静浦保育園	南部	30	29	96.7
	愛鷹保育園	西部	150	132	88.0
	かぴらばす保育園	中央南	60	48	80.0
	青葉保育園	南部	30	14	46.7
	天神保育園	西部	60	63	105.0
	原町保育園	西部	90	85	94.4
	みくに保育園	西部	60	55	91.7
	大泉保育園	西部	45	31	68.9
	浮島保育園	西部	60	46	76.7
	いずみ保育園	東部	120	124	103.3
	かぬき保育園	中央南	60	64	106.7
	光長保育園	東部	130	119	91.5
	まいとりや保育園	西部	90	71	78.9
	小百合保育園	中央南	60	65	108.3
	多比保育園	南部	30	26	86.7
	青空保育園	中央西	120	103	85.8
	しんあい保育園	中央南	120	109	90.8
	丘の上保育園	東部	80	78	97.5

資料：沼津市

（３）認定こども園児童数

平成 31 年（2019）４月現在、本市の認定こども園は８か所となっており、充足率は77.6%となっています。

■地区別認定こども園の状況表（平成 31 年（2019）４月１日現在）　単位：か所、人、%

	西部地区	中央西地区	中央地区	東部地区	中央南地区	南部地区	計
施設数（か所）	5	3	0	0	0	0	8
定員（人）	603	493	0	0	0	0	1,096
利用児童数（人）	523	328	0	0	0	0	851
充足率（%）	86.7	66.5	－	－	－	－	77.6

資料：沼津市

■認定こども園別児童数（平成 31 年（2019）４月１日現在）　単位：人、%

施設		地区	平成 31 年（2019）		
			定員（人）	入所者数（人）	充足率（%）
幼保連携型	認定こども園 しょうえい幼稚園	西部	132	127	96.2
	認定こども園 片浜桜	中央西	210	144	68.6
	認定こども園 中央幼稚園	中央西	172	135	78.5
	認定こども園 杉浦学園	西部	235	232	98.7
幼稚園型	認定こども園 原町幼稚園	西部	120	87	72.5
	認定こども園 こずわ幼稚園	中央西	111	49	44.1
	認定こども園 春の木幼稚園	西部	90	68	75.6
	認定こども園 プラドバイリンガル幼稚園	西部	26	9	34.6

資料：沼津市

（４）地域型保育事業児童数

平成 31 年（2019）４月現在、本市の地域型保育事業は４か所で実施されており、充足率は 72.1%となっています。

■地区別地域型保育事業の状況表（平成 31 年（2019）４月１日現在）　単位：か所、人、%

	西部地区	中央西地区	中央地区	東部地区	中央南地区	南部地区	計
施設数（か所）	0	0	2	2	0	0	4
定員（人）	0	0	38	28	0	0	66
利用児童数（人）	0	0	28	21	0	0	49
充足率（%）	－	－	73.7	75.0	－	－	74.2

資料：沼津市

■地域型保育事業別児童数（平成 31 年（2019）４月１日現在）　　単位：人、％

施設		地区	平成 31 年（2019）		
			定員（人）	入所者数（人）	充足率（％）
小規模保育Ａ型	ぽんぽんの森	中央	19	15	78.9
	アドバンぺんぎん保育園	中央	19	13	68.4
	イロドリぬまづ保育園	東部	12	8	66.7
	保育所グローアップ大岡園	東部	18	13	72.2

資料：沼津市

（５）小学生児童数の推移

小学生児童数の推移をみると、平成 27 年度（2015）から平成 30 年度（2018）までの間に 724 人減少しています。

■小学校別児童数の推移（各年度５月１日現在）　　単位：か所、人、％

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)
学校数（か所）	25	25	25	25
学級数（学級）	362	363	361	359
児童数（人）	9,857	9,612	9,397	9,133

資料：沼津市

（６）放課後児童クラブ登録児童数の推移

放課後児童クラブ登録児童数の推移をみると、平成 27 年度（2015）から平成 30 年度（2018）までの間に市内 22 の小学校区で開設されているクラブのうち 12 小学校区では増加しており、全体では 189 人の増加となっています。

■放課後児童クラブ登録児童数の推移（各年度５月１日現在）　　単位：人

設置か所	平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
第一小学校	40	40	40	35
第二小学校	25	19	17	15
第三小学校	36	41	36	37
第四小学校	76	80	75	77
第五小学校	39	38	52	67
香貫小学校	71	68	77	80
開北小学校	41	40	44	60
大岡小学校	38	24	37	37
大岡南小学校	41	44	50	69
金岡小学校	81	80	117	116
門池小学校	81	80	118	120
沢田小学校	34	34	40	40
愛鷹小学校	77	78	81	102
今沢小学校	22	18	31	20
片浜小学校	28	34	34	36
浮島小学校	25	25	25	28
原小学校	90	87	85	90
原東小学校	38	36	39	34
大平小学校	12	11	19	26
静浦小中一貫学校	19	25	18	17
内浦小学校	6	3	4	5
西浦小学校	15	15	18	13
合　計	935	920	1,057	1,124

資料：沼津市

第２節　子ども・子育て支援事業の実施状況

１　認定区分ごとの教育・保育事業の状況

（１）１号認定（幼稚園・認定こども園（教育部））

幼稚園・認定こども園（教育部）の利用者数は、各年度とも定員を 1,700 人以上下回って推移しています。

■１号認定の推移（幼稚園・認定こども園（教育部））　単位：人

区分	平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
定員	4,586	4,506	4,261	4,139
計画値　　１号認定	4,696	4,476	4,244	4,154
実績値	2,973	2,802	2,606	2,438
計画値ー実績値	1,723	1,674	1,638	1,716
定員ー実績値	1,613	1,704	1,655	1,701

資料：沼津市

（２）２号認定（保育所・認定こども園（保育部））

保育所・認定こども園（保育部）の利用者数は、各年度とも定員を 100 人以上下回って推移しており、定員と実績値との差は、直近の平成 30 年度（2018）で 198 人となっています。

■２号認定の推移（保育所・認定こども園（保育部））　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
定員		1,733	1,701	1,776	1,794
	保育所	1,688	1,596	1,605	1,530
	認定こども園	45	105	171	264
	認可外保育施設	0	0	0	0
計画値	２号認定	1,733	1,953	2,185	2,275
実績値		1,556	1,596	1,589	1,596
計画値ー実績値		177	357	596	679
定員ー実績値		177	105	187	198

資料：沼津市

（３）３号認定（保育所・認定こども園・地域型保育）（０歳児）

保育所・認定こども園・地域型保育の０歳児の利用者数は、各年度とも定員を 100 人以上下回って推移しており、定員と実績値との差は、直近の平成 30 年度（2018）で 135 人となっています。

■３号認定の推移（保育所・認定こども園・地域型保育）（０歳児）　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
定員		265	266	265	277
	保育所	259	245	242	235
	認定こども園	6	15	17	27
	地域型保育	0	6	6	15
計画値	３号認定	277	277	316	381
実績値		126	155	180	142
計画値ー実績値		151	122	136	239
定員ー実績値		139	111	85	135

資料：沼津市

（４）３号認定（保育所・認定こども園・地域型保育）（１・２歳児）

保育所・認定こども園・地域型保育の１・２歳児利用者数は、各年度とも定員を 80 人以上上回って推移しています。

■３号認定の推移（保育所・認定こども園・地域型保育）（１・２歳児）　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
定員		817	842	865	899
	保育所	793	784	778	740
	認定こども園	24	45	74	124
	地域型保育	0	13	13	35
計画値	３号認定	841	841	865	895
実績値		942	941	1,000	979
計画値ー実績値		△ 101	△ 100	△ 135	△ 84
定員ー実績値		△ 125	△ 99	△ 135	△ 80

資料：沼津市

２　地域子ども・子育て支援事業

（１）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

年間利用者数は、増加傾向にあり、低学年については計画値を上回って推移しています。

■放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の計画値及び実績値　　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値		1,368	1,323	1,281	1,230
	低学年	875	840	813	767
	高学年	493	483	468	463
実績値		981	995	1,114	1,176
	低学年	961	965	1,020	1,044
	高学年	20	30	94	132
計画値－実績値		387	328	167	54
	低学年	△ 86	△ 125	△ 207	△ 277
	高学年	473	453	374	331

資料：沼津市

（２）延長保育事業

年間利用者数は、計画値を 400～600 人程上回って推移しています。

■延長保育の計画値及び実績値　　単位：人、か所

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人	712	696	685	679
実績値	人	1,301	1,109	1,176	1,155
	か所	28	29	30	31
計画値－実績値	人	△ 589	△ 413	△ 491	△ 476

資料：沼津市

（３）一時預かり事業

一時預かり事業（幼稚園預かり保育）の利用人日は、計画値を大きく下回って推移しています。

実施か所数は、増加傾向にあり、直近の平成 30 年度（2018）では６か所で実施しています。

■一時預かり事業（幼稚園預かり保育）の計画値及び実績値　　単位：人日、か所

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値（人日）		151,214	143,706	141,414	140,992
	１号認定	21,748	20,668	20,338	20,278
	２号認定	129,466	123,038	121,076	120,714
実績値	人日	1,508	1,727	3,314	7,607
	か所	1	2	3	6
計画値－実績値	人日	149,706	141,979	138,100	133,385

資料：沼津市

一時預かり事業（幼稚園預かり以外）の利用人日は、計画値を大きく下回って推移しています。

実施か所数は、減少傾向にあり、直近の平成 30 年度（2018）では 23 か所で実施しています。

■一時預かり事業（幼稚園預かり以外）の計画値及び実績値　　単位：人日、か所

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人日	28,955	28,364	27,919	27,648
実績値（人日）		7,723	5,820	5,746	4,007
	一時預かり事業	7,405	5,632	5,642	3,891
	一時保育事業	318	188	104	116
実績値（か所）		29	29	25	23
	一時預かり事業	23	23	21	19
	一時保育事業	6	6	4	4
計画値－実績値	人日	21,232	22,544	22,173	23,641

資料：沼津市

（４）地域子育て支援拠点事業

利用者数は、計画値を下回って推移しています。なお、平成 29 年度までは増加傾向が続いていましたが、直近の平成 30 年度(2018)では前年度より 6,296 人減少しています。

実施か所数は、平成 27 年度以降は 10 か所で推移しています。

■地域子育て支援拠点事業の計画値及び実績値　　単位：人日、か所

区分		平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)
計画値	人日	149,328	150,396	148,116	145,824
実績値	か所	10	10	10	10
	人日	89,982	92,622	92,730	86,434
計画値－実績値	人日	59,346	57,774	55,386	59,390

資料：沼津市

（５）病児・病後児保育事業

利用人日は、各年度とも計画値を 6,500 人以上下回って推移しています。

実施か所数は、平成 28 年度（2016）以降４か所となっています。

■病児・病後児保育事業の計画値及び実績値　　単位：人日、か所

区分		平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)
計画値	人日	7,789	7,584	7,392	7,217
実績値（人日）		※51	697	617	656
	病児対応型	0	160	155	260
	病後児対応型	51	63	81	70
	体調不良児対応型	※データなし	474	381	326
実績値（か所）		3	4	4	4
	病児対応型	0	1	1	1
	病後児対応型	1	1	1	1
	体調不良児対応型	2	2	2	2
計画値－実績値	人日	※7,738	6,887	6,775	6,561

資料：沼津市

※病児対応型、病後児対応型のみの合計

（６）子育て短期支援事業（ショートステイ）

年間利用数は、増加傾向にあるものの、各年度とも計画値を 160 人以上下回って推移しています。平成 28 年度（2016）より実施がされ、平成 29 年度（2017）以降は実施か所数は、２か所となっています。

■子育て短期支援事業（ショートステイ）の計画値及び実績値　　単位：人、か所

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人	238	231	224	217
実績値	人	0	6	63	22
	か所	0	1	2	2
計画値ー実績値	人	238	225	161	195

資料：沼津市

（７）利用者支援事業

実施か所数は、計画値を下回って推移しています。平成 28 年度（2016）より母子保健型での実施が始まっています。

■利用者支援事業の計画値及び実績値　　単位：か所

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	か所	1	2	3	3
実績値（か所）		0	1	3	3
	基本型・特定型	0	0	2	2
	母子保健型	0	1	1	1
計画値ー実績値	か所	1	1	0	0

資料：沼津市

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業　就学児）

契約件数は、減少傾向にあるものの、直近の平成 30 年度（2018）で計画値を 65 人上回っています。

■子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業　就学児）の計画値及び実績値

単位：人日、人、件

区分			平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値　（契約件数）		人日	1,342	1,316	1,276	1,262
実績値	依頼会員	人	510	546	580	609
	提供会員	人	125	129	135	156
	両方会員	人	62	64	62	42
	契約件数	件	2,216	1,436	1,403	1,327
計画値ー実績値		件	△ 874	△ 120	△ 127	△ 65

資料：沼津市

（９）乳児家庭全戸訪問事業

年間訪問者数は出生数の減少に伴い、減少傾向にあり、各年度とも計画値を下回って推移しています。

■乳児家庭全戸訪問事業の計画値及び実績値　　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人	1,312	1,278	1,250	1,250
実績値	人	1,280	1,241	1,123	1,060
計画値－実績値	人	32	37	127	190

資料：沼津市

（10）養育支援訪問事業

年間訪問数は、増加傾向にあるものの、計画値を下回って推移しています。直近の平成 30 年度（2018）では、計画値を 33 人下回っています。

■養育支援訪問事業の計画値及び実績値　　単位：人

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人	680	592	599	606
実績値	人	506	562	520	573
計画値－実績値	人	174	30	79	33

資料：沼津市

（11）妊婦健康診査

年間受診者数は、減少傾向にあり、計画値を下回って推移しています。直近の平成 30 年度（2018）では、計画値を 3,226 人下回っています。

■妊婦健康診査の計画値及び実績値　　単位：人回

区分		平成 27 年度（2015）	平成 28 年度（2016）	平成 29 年度（2017）	平成 30 年度（2018）
計画値	人回	18,116	17,724	16,786	16,548
実績値	人回	15,708	14,718	13,694	13,322
計画値－実績値	人回	2,408	3,006	3,092	3,226

資料：沼津市

第３節　アンケート調査結果の概要

子ども・子育て支援事業のニーズ量の把握、子育て支援施策の動向把握のため、次のとおり、「子育て支援に関するアンケート調査」を実施しました。

１　調査の概要

（１）調査の目的

本計画の策定にあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握することを目的とするものです。

（２）調査対象

就学前児童保護者：沼津市在住の０歳～５歳までの子どもの保護者を無作為抽出

就学児童保護者：沼津市在住の小学生の保護者を無作為抽出

（３）調査期間

平成 31 年（2019）２月 15 日から平成 31 年（2019）２月 28 日

（４）調査方法

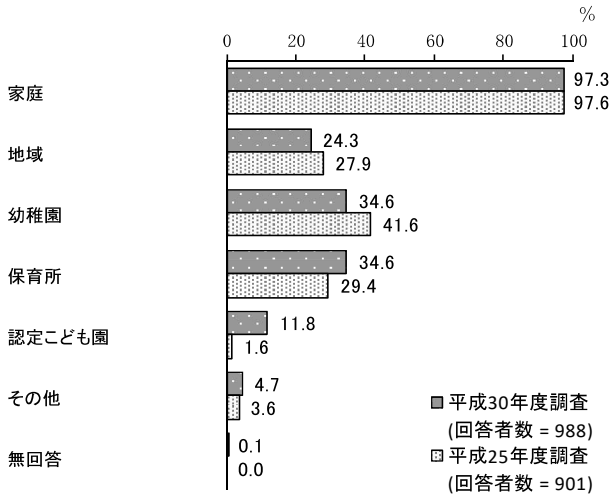
郵送による配布・回収

（５）回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,800 通	988 通	54.9%
就学児童保護者	1,800 通	1,066 通	59.2%

２　調査結果の概要

（１）子育てに最も影響する環境について（就学前児童）



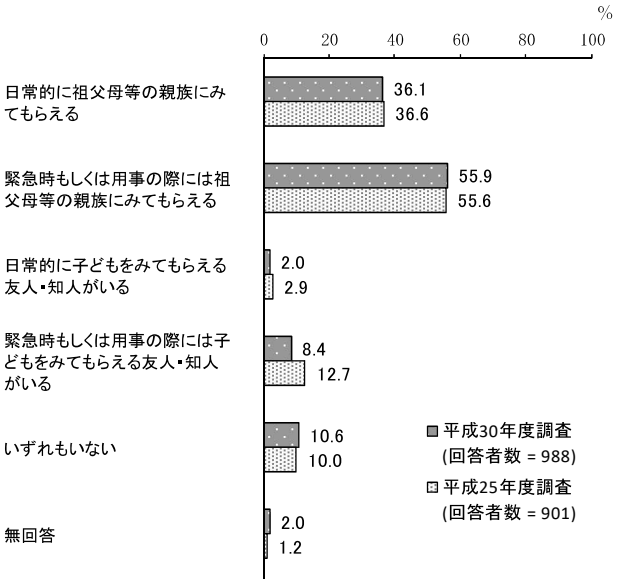
子育てに最も影響する環境について、「家庭」の割合が 97.3%と最も高く、次いで「幼稚園」、「保育所」の割合が 34.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「家庭」の割合は変化がなく、「保育所」「認定こども園」の割合が増加しています。その一方で、「幼稚園」、「地域」の割合が減少しています。

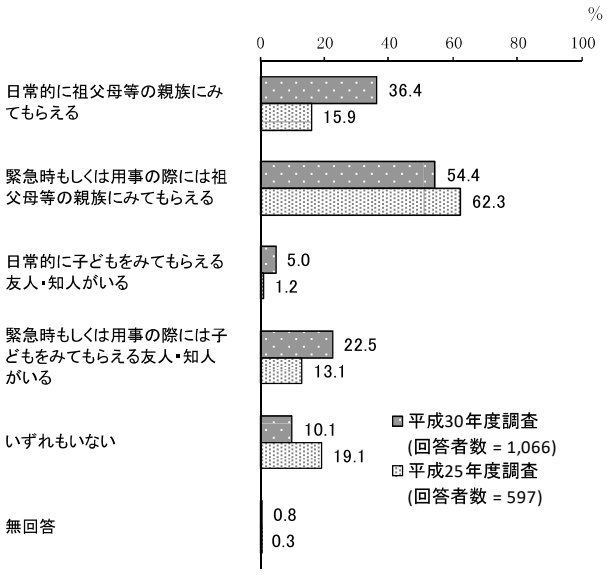
保育事業に対して、これまで以上の期待が寄せられていることから、保育所環境の整備や保育内容の充実、保育士の確保等が必要と考えられます。

（２）日頃、子どもの面倒をみてくれる親族・知人について（就学前児童、就学児）

＜就学前児童＞



＜就学児＞



日頃、子どもの面倒をみてくれる親族・知人について、就学前児童、就学児ともに以下のとおり回答を得ています。

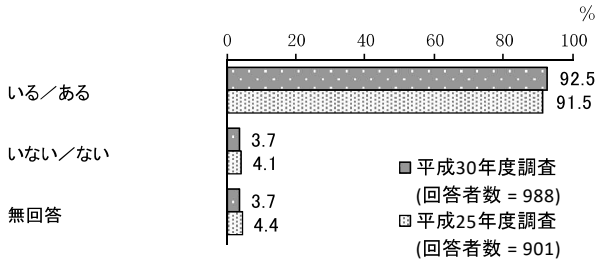
未就学児については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 36.1%、「いずれもいない」の割合が 10.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 36.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 22.5%となっています。

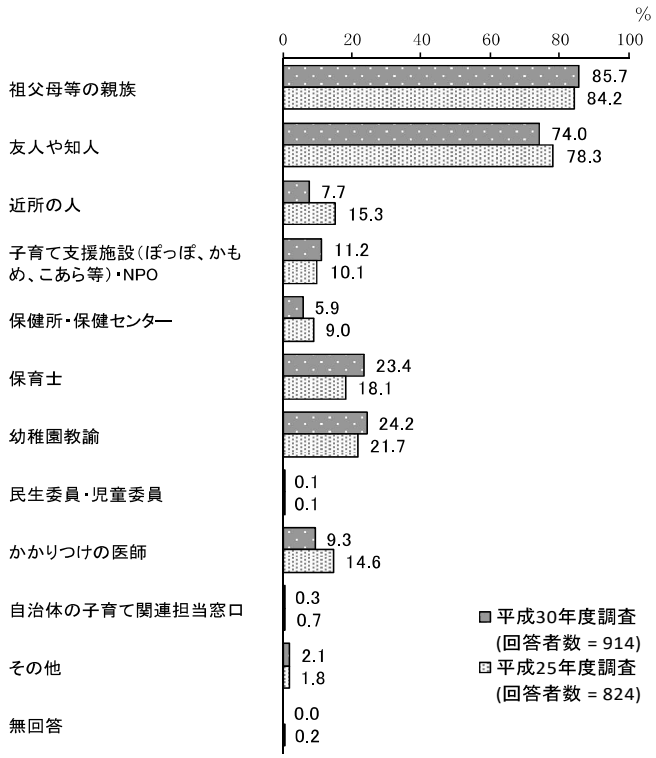
平成 25 年度調査と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「いずれもいない」の割合が減少しています。

（３）身近な相談相手について（就学前児童）



身近な相談相手の有無について、「いる／ある」の割合が 92.5%、「いない／ない」の割合が 3.7%となっています。

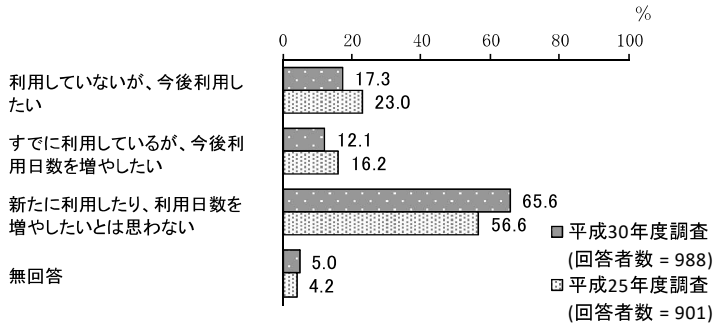
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「いる／ある」の回答者のうち、相談先・相談相手を尋ねると、「祖父母等の親族」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 74.0%、「幼稚園教諭」の割合が 24.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「保育士」の割合が増加しています。一方、「近所の人」「かかりつけの医師」の割合が減少しています。

（４）地域子育て支援拠点事業の利用意向について（就学前児童）



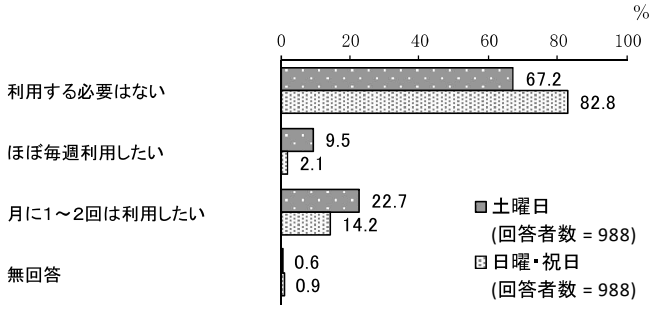
地域子育て支援拠点事業（ぽっぽ、かもめ、こあら、へだっこ、ふれあい交流室等）の今後の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 17.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 12.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わ

ない」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」の割合が減少しています。

本事業が浸透し、利用希望者の多くは既に事業を利用しており、新たな利用希望者は以前と比べて減少しています。今後は、活動の拠点となる地域子育て支援センターの環境向上や事業内容の充実が必要と考えられます。

（５）土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用希望について（就学前児童）

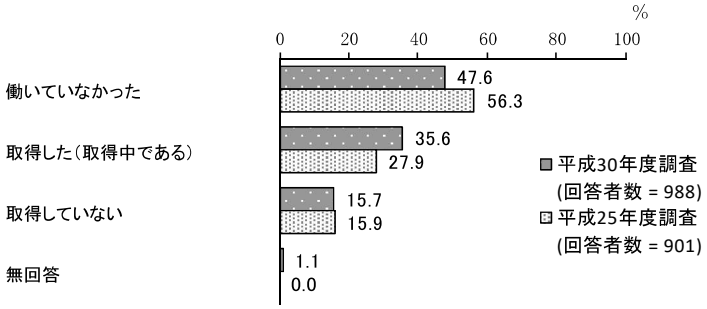


土曜日では、「利用する必要はない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 22.7%となっています。

日曜・祝日では、「利用する必要はない」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」の割合が 14.2%となっています。

（６）育児休業の取得状況について（就学前児童）

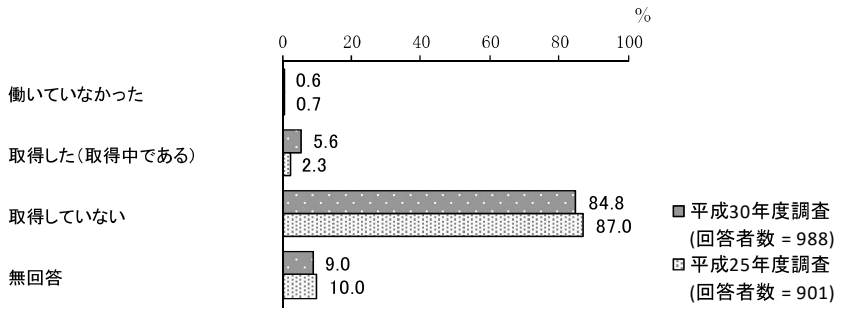
ア　母親の取得状況



母親の取得状況について、「働いていなかった」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 35.6%、「取得していない」の割合が 15.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

イ　父親の取得状況

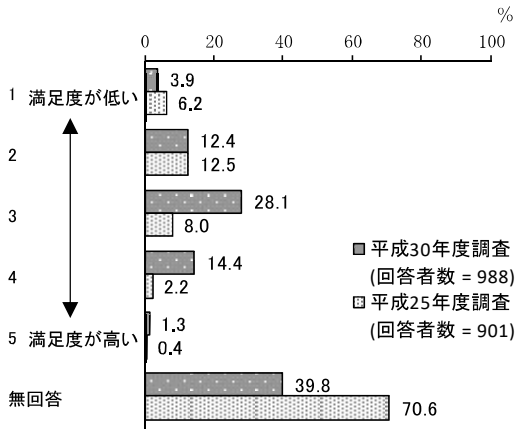


父親の取得状況について、「取得していない」の割合が 84.8%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が若干増加しています。

母親では育児休業の取得が浸透していますが、父親の取得は進んでいないとみられます。今後は、男女問わず育児休業の積極的な取得を勧奨し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みに努める必要があります。

（７）沼津市の子育てへの環境・支援の満足度について（就学前児童）

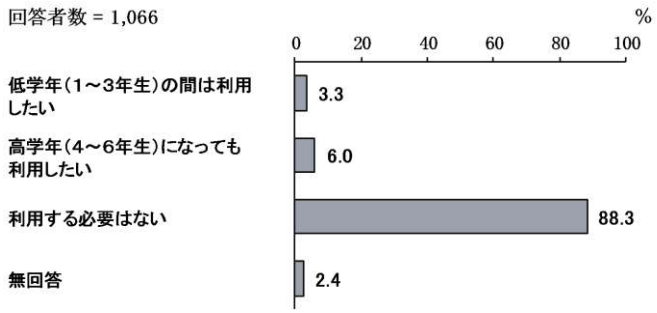


満足度を５段階で評価していただくと、「３」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「４」の割合が 14.4%、「２」の割合が 12.4%となっています。

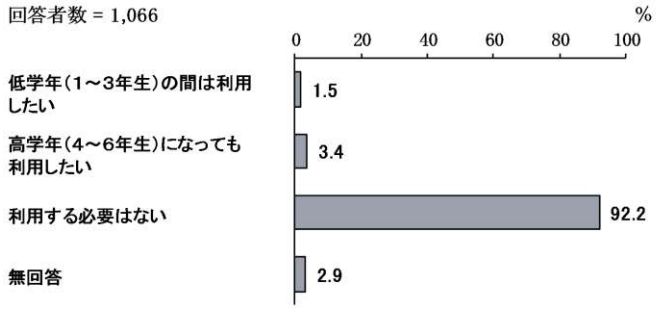
平成 25 年度調査と比較すると、「３」「４」の割合が増加しています。なお、「無回答」の割合が大幅に減少したため、市の子育て支援施策に一定の関心を持つ保護者が増えた可能性が考えられます。

今後は、子育て支援施策への関心を高めるとともに、満足度をより一層高められるよう、保護者のニーズや社会情勢を常に捉え、地域の現状や時代の変化に対応した施策の検討が必要です。

（８）土曜・日曜・祝日の放課後児童クラブの利用意向について



土曜日の利用意向は、「利用する必要はない」の割合が 88.3%と最も高くなっています。



日曜・祝日の利用意向は、「利用する必要はない」の割合が 92.2%と最も高くなっています。

第４節　子育て支援施策の実施状況

次世代育成支援対策推進法第８条に基づく「市町村行動計画」に該当する、子育て支援施策（基本計画）に該当する事業は全 113 事業あり、その実施状況について、以下のとおり自己評価を行いました。

実施状況に応じて、「Ａ　計画どおり実施している」、「Ｂ　計画どおりではないが、実施している」、「Ｃ　実施していない」の３段階で評価しています。

表には、各施策の３段階評価に該当する施策数を記述しています。

施策・事業	該当事業数		
	評価Ａ	評価Ｂ	評価Ｃ
基本方向１　乳幼児が安心して教育・保育を受ける環境が整う施設サービスの充実			
施策１　誰もが必要とする教育、保育サービスが受けられる場所の確保	2	14	5
基本方向２　子どもの育ちを支え、若者が安心して成長できる社会へ			
施策１　子どもを社会全体で支えると共に、平等な教育機会の確保を行う（家庭や地域の教育力向上）	1	9	0
施策２　子どもの地域での居場所づくり	2	6	0
施策３　子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の充実	3	0	0
施策４　次代の親教育の推進（思春期保健・健全育成等）	0	2	0
施策５　青少年の健全な心と身体の育成	7	1	0
施策６　意欲を持って就業と自立に向ける社会をつくる	2	0	0
施策７　社会生活に必要なことを学ぶ機会の提供	1	0	0
基本方向３　いじめや虐待のない社会の形成へ			
施策１　子どもが安心して生活できる社会づくり	8	0	0
基本方向４　妊娠、出産、子育ての希望が実現できる社会へ			
施策１　安心して妊娠・出産できるように	3	6	0
施策２　子どもの健康と安全を守り、安心して医療にかかれるように	8	1	0
施策３　特に支援が必要な子どもが健やかに育つように	10	5	0
基本方向５　多様なネットワークで子育ての力のある地域社会へ			
施策１　子育て支援の拠点やネットワークの充実が図られるように	0	3	0
施策２　子どもが住まいやまちの中で安全・安心に暮らせるように	4	0	0
施策３　広域連携における子育て支援	0	0	2
基本方向６　男性も女性も仕事と生活が調和する社会へ（ワーク・ライフ・バランス）			
施策１　働き方の見直し（働く場所の確保）	2	0	0
施策２　仕事と家庭が両立できる職場環境の実現	3	0	0
施策３　安心して外出できる環境の充実	2	1	0

なお、「評価Ｃ」の項目については、新規事業者の参入がないことにより動きがないもの（基本方向１－基本施策１の５事業）、広域的な取り組みの仕組みづくりに時間を要しているもの（基本方向５－基本施策３の２事業）の２とおりに分類されます。